Gate Town News
http://www.nakamegurogt.jp
Nakameguro Gate Town 中目黒GT

GTニュース

発行
全体管理組合
A棟管理組合
B・C棟管理組合
目黒区上目黒2-1-1
TEL（5704）0046
FAX（5721）8928

今年もよろしくお願いいたします。
GTニュースのバックナンバーはホームページでご覧になれます。

2009年1月
第25号

目黒区書作家協会会長 田渕観齋（保夫）さんインタビュー

数学教師から書道家に・・・「書」を通して世界へメッセージ！

立正大学文学部名誉教授、木鐸会主宰、目黒区書作家協会会長、国際書画連盟理事長など数多くの肩書きを持つ書道家の田渕観齋（保夫）さん（79）に書道文化や活動について伺った。

数学教師から書道家に転身

目黒区目黒に在住の田渕観齋さん、子供の頃は北海道で育った。父親は画家で筆や絵の具はいつも身近かにあり、三才頃から筆を持ち始めたという。物心ついた子供の頃は日本も戦争にまっしぐらの時代。当時、多くの兵隊を戦地に送る「見送りの旗」を父親が書いていた事もあり、見よう見まねで書に親しんでいった。学生時代は戦争の真っ只中、軍事訓練や体力づくりばかりさせられた時代だった。中学卒業の年が終戦の年、その後函館と十勝で中学・高校の教師となる。担当は数学だった。

教師として数学を教えるかたわら、生徒たちに書道も指導。東京で開催される展覧会に教え子と共に上京しさらに広い世界にふれた。独学の限界も感じ、向学心に燃え東京で大学を受験、書道の道を極めるため選んだ道は国文だった。数学の教師から一転、百八十度の方向転換だったが、これが書道家への第一歩となった。

入学した立正大学では平山観月氏に師事、観の一字を継ぎ観齋を名乗った。その後、立正大学では教授を務め平成十二年、定年退職するまで、学生を指導、現在は立正大学名誉教授となっている。

教授時代には北京で一年間研修、書の本場である中国北京に住み、中国語を学び、遺跡を回っては研究を続けた。平成七年には北京市の中国美術館で中国の陳維画伯と聯合書画展を開催。同美術館での開催としては日本人として二人目の偉業。〝書〟の本場である中国での開催は地元中国でも新聞マスコミにも取り上げられたほどだった。

〝書〟は技術面での基礎力も大切だが、それに加えて作品にする題材の占める意味が大きい。直接的な言葉をいかに表現し伝えるか。観齋さんは「言葉を選んだら、それからは昼も夜もその言葉の意味をじっくり深く考えます。そして書く時は一気に書く。この時は、昼も夜もないですね」という。「現代詩と古典はおのずから書き方が違います。現代詩は浅野晃氏の詩が多い」と語るが、詩のメッセージを〝書〟の表現でさらに深めている作品の数々である。

◀福寿聯雙美
芝蘭發異香
（極聯集）

伝統を現代に伝える・・・

〝書〟の歴史は長い。「書には古い伝統があり、基礎的な表現も色々あります。しかし〝我流〟はどこかで行き詰ってしまいます。そのためにはやはり基本が大切。その上に立って〝ひととなり〟の表現が加わり、はじめて作品となります」という。

2面につづく

お知らせ 来年予定されている催物

① 第六天社例祭

新たな年を迎え、紅梅がほころびはじめる一月十二日（祝・月）に中目黒八幡神社の岡部宮司をお迎えして執り行われます。

▲第六天社

② GT春まつり

四月五日（日）の午後、「四月二日はGTの日」記念イベントとして開催します。

☆目黒囃子上目黒保存会の皆さんによる郷土芸能―お囃子にひょっとこ獅子舞い

☆ビンゴゲーム、記念抽選会など遊びが盛りだくさん

▲伝統の目黒囃子

③ くすの木まつり

GT広場が賑やかにお迎えします！

本年も五月の第二日曜日、目黒銀座商店街のフリーマーケットに合わせてGTプラザ商店会主催により開催の予定です。四月下旬頃にはチラシなどでお知らせします！

▲昨年のイベント風景

▲昨年のイベント風景

GTギャラリーカレンダー

★朝倉健吾写真展
一月八日～二十一日

★三江健太（絵画）展
一月二十六日～二月十六日

★深津教室（書道）展
二月十七日～三月三日

★日景　祐・詩書展
三月四日～十八日

★獺（かわうそ）画会（絵画）展
三月十九日～三十一日

GT賀詞交歓会

平成二十一年「GT賀詞交歓会」を左記の日程で開催します。

・日時　一月十五日（木）
午後三時三十分～六時

・会場　GTプラザホール

☆ 午後五時から、GT新春イベントとして「ニューイヤー・コンサート」も開催されます。

新年にふさわしい曲目が用意されています。関係の方はぜひお出かけください。

▲昨年初めて開催！
ニューイヤーコンサート

GT全館避難訓練 807名が参加

昨年10月27日、タワー棟で訓練火災が発生！119番通報を消防署へ、現場では初期消火開始！連絡を受けた防災センターからは全館に非常放送が流され、緊迫感の中避難が始まりました。避難完了後に目黒消防署長と統括防火管理者からの講評を聞き、起震車や煙の体験、また水消火器を使って初期消火の指導を受けました。

プラザ商店会からは、13店舗（20名）の皆さんが避難訓練に参加されました。

避難してきた参加テナントの社員の皆さん
（タワー棟内の人口～現在、約2,100人）

GTの「AED」 5台配備完了!!

中目黒ＧＴでは、「ＡＥＤ」整備拡充を進めていましたが、現在、次の各所で合計５台となりました。

＊ タワー棟１階・ロビー
＊ ハイツ棟（Ｂ棟）１階エントランス
＊ テラス棟（Ｃ棟）１階・エレベータホール
＊ 地下１階・管理センター
＊ 地下１階・ＧＴホール脇（目黒区設置分）
◎毎月講習会開催！出張講習もいたします。
・お問い合わせ ☎5721-2182（防災センター）

編集後記

〝光陰矢の如し〟

個性を持った新しい街としてオープンしたGTも、この春、八年目を迎えます。

一方、向かい側にそびえ立つアトラスタワーは、十月には竣工予定。

今春、一足早くオープンするアリーナともども、新しい中目黒の「街の顔」がそろいます。

先輩格のGTとして大きな責任の重みを感じます。

昨年の一月号の本欄で干支を取り上げましたが、今年の干支「丑」の特徴＝粘り強さと誠実＝を信じて、取り組むことを「一年の計」とするか・・・

アトラス様！

伝統の継承も現代の書も全ては基本を学ぶことから始まるという。そのためには子ども達への指導も大切な仕事。現代生活では書を書くことが少なくなってきたが、文字を書く時の姿勢、筆やエンピツの持ち方をきちんと指導する人も少なくなってしまったという。筆順も含めきちんと理解しないと美しい文字は書けないとも。(財)日本書写技能検定協会の理事でもあるが、お正月に書きぞめや年賀状でなるべく筆を持ち、〝書〟に親んでほしいという。

書を通して国際交流を…

現在、「木鐸会」の主宰でもある観齋さん。銀座で開く年一度の展覧会の開催も本年で三十五回目になる。歌舞伎座の舞台で作品を仕上げ客席に披露するパフォーマンスを行ったこともある。その他、目黒区書作家協会の会長も務める。奥様の田渕祥玉(貞)さんも同会の監事。共に書道の普及に努めている。

また、観齋さんは中国をはじめ世界各国で展覧会・交流会を開いてきた。現在は国際書画連盟理事長として〝書を通しての心の交流〟に力を注ぐ。「ヨーロッパ、アジア世界各国を回りましたが、書は世界に通じます。これからは〝書〟を通し日本から世界に向けて平和の心やメッセージを伝えていきたいですね」と語る。国際交流をこれからのライフワークにしていきたいという観齋さん。子どもの頃、兵隊を見送る旗を見てきた体験が心をよぎるのか、〝書〟が平和な世界と心を結ぶことを祈っているようだ。

目黒消防署に横山正巳署長

昨年十月一日付の異動で目黒消防署長に着任した。前任署は日本堤署長。「第三方面も含め目黒区は初めてです。住宅と商業地、年配の方と若者など、調和がとれた町という印象です。現在、目黒消防署には二百七十人の署員がおりますが、『主役は区民の皆さん』で、安心・安全の街づくりをしっかりサポートしていきたい。特に防災面でのアドバイスを重点に取り組みたいですね。消防署も新築され、機能も充実されましたが、これも住民の皆様の支えがあったからこそと思います。夜間の職員待機施設も充実し大きな災害にも即戦力として街の安全を守りたい」。と語っています。

新潟県魚沼市出身で魚沼特使も務めています。新潟中越地震の時も、その日に被災地に入ったといいます。

「災害に対しては実戦に即した訓練が大切です。身近な物を工夫した対応などもアドバイスできたら…」と語っています。

▲ 昨年9月に落成した目黒消防署の新庁舎

▲ 横山正巳 目黒消防署長

お問い合わせは…
目黒消防署
〇三―三七一〇―〇一一九

中目黒出張所

現在、中目黒出張所は二十九名が三交代で勤務しています。奥住所長は「地域の方に気軽に相談いただけるよう心掛け、街の方々と協力し合って、地元の安心・安全をめざしていきたいですね」と語っています。

▲ 奥住恵一 中目黒出張所長

秋のイベントレポート

イベント① オータムフェスティバル2008

GTプラザ商店会では、昨秋十月十九日、GT広場で恒例の「オータムフェスティバル2008」を開催しました。

GTプラザ商店会の店舗ご利用の皆様や近隣にお住まいの区民の皆様が、豪華な景品で人気のビンゴゲームを楽しみに参加されました。

二人の女性パフォーマーの競演もあり、輪投げ大会ありで、この日のGT広場は、賑やかに盛り上がっていました。

▲ ビンゴゲーム盛況！

イベント② 第5回中目黒あかりまつり

一昨年までの青色を全て電球色に換えたイルミネーション。そして、シンボルツリーの「くすのき」には、snow fallで〝舞い落ちる雪〟を演出。いかがでしょうか。一月十一日まで、GTの冬景色をお見せします。

▲ お馴染み似顔絵パフォーマー！

▲ スノーフォール

「あかりまつり」のメインとなる十二月二十一日には、突如、広場に「雪だるま」が出現！これは、ワークショップ参加者の作品。このほかコンサート、マーケットそしてこれらを応援するかのように「私たちのクリスマスツリー展」、「古代の行列」の妖精たちが大いに盛り上げてくれました。

▲「雪だるま」集合！

▲ あかりまつりビッタリのNUUさんの歌声が今年も響く！

イベント③ GTクラシックコンサート

今回は、(財)目黒区芸術文化振興財団との共催で開催されチケットはご案内後即完売という人気。

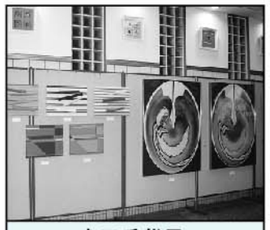
チェロの中島真理さんの長女満音(みお)さんがピアノ熱演デビューでした。

▲ 昨年11月21日のコンサートで満音(みお)さん、熱演

GTギャラリー 絵画と写真の展覧会続く

昨年の九月三十日から暮れの十二月二十五日まで、GT初出品のお二人の絵画展、常連グループの写真展がGTの芸術の秋を飾りました。

沖谷八郎展


内田千代子 カラー＆カラー展

第五回 めぐろ地域福祉のつどい

GTでの開催は、今回で三回目となり、タワー棟テナントさんの協賛をいただくなど、すっかり恒例のイベントになりました。「来年もよろしく！」とは主催者・目黒区社会福祉協議会のご挨拶。

秋の税理士仲間の写真展

東山フォトクラブ会員展

目黒区役所写真部展

▲ 10月25日、GTで演技 迫力満点！目黒銀座婦人部のよさこい踊り

ペンリレー⑩ ―まだ見ぬ進化を、世界に―

GTタワーのテナント紹介コーナーの10回目は、7階のイーグローバレッジ(株)にご寄稿いただきました。

当社は、商社色が強い半導体関連、電子機器OEMビジネス、またメーカー&システムインテグレーション色が強い短距離無線関連(ソフト開発含む)、ネットワーク関連ビジネス等、様々な事業を展開しております。

例えば携帯電話における赤外線通信、これを可能とさせているのは、私たちが開発したソフトウエアです。

とにかく、ビジネスとして面白いこと、インパクトのあることを仕掛けていく、そんな気概、野心を持ったイーグローバレッジでありたいと考えております。

オフィスに目を向けると、他部署ともコミュニケーションがとりやすいよう、パーテーションもないフロアです。自分の仕事にだけ没頭するのではなく「常に横を意識し、横を見て仕事をする」こと、つまり他部署との事業の組み合わせ、人脈の活用により、新たなビジネスチャンスを見出そうという社長からのメッセージでもあります。また、「社員に構えることなく入ってきてほしい」ということで、社長室はいつもオープンです。

皆、気軽に足を運び、ビジネスの話は勿論のこと、そのちょっとした合間にゴルフ等プライベートな話もしております。

十年一昔と言われていた時代は過ぎ去り、今は毎日毎日が革新の日々であります。当社においても、常に世界に目を向け"knock the door to the world"、―まだ見ぬ進化を、世界に―を実現すべく、社員一同、日々ビジネスに取り組んでいます。